

# 女学生田辺聖子の 戦争と青春



写真提供：大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館、2007年6月9日

2021年、田辺聖子18歳の頃の日記が発見されました（『田辺聖子 十八歳の日の記録』文藝春秋社刊）。後に“昭和”を代表する作家となった田辺の若き日の日記が見つかったというだけでなく、“昭和20年8月15日”を挟む時期の日記であったことから、大きな話題となりました。

その日記を書いていた時期、田辺は樟蔭女子専門学校（現・大阪樟蔭女子大学）に通う女学生でした。平時であれば、作家を夢見る女学生として、青春を謳歌していたであろう田辺が、敗戦前後の時期、何を見、何を記したのか。第一級の「時代の証言」とも呼ぶべき田辺の日記を読み解いていきます。



白川哲郎 大阪樟蔭女子大学学芸学部国文学科教授

大阪大学大学院文学研究科後期課程修了。博士（文学）。専門は歴史学（日本史）。大阪樟蔭女子大学に着任後、自校教育に携わる中で、大阪樟蔭女子大学の前身である、戦前の女子高等教育機関「樟蔭女子専門学校」についても研究。近年は樟蔭女子専門学校の卒業生である田辺聖子さんに注目している。大阪樟蔭女子大学自校教育教科書『樟蔭の窓』（非売品）を編集。近著に「田辺聖子〈知の履歴〉へのアプローチ」（『樟蔭国文学』60号、2024年）。

日時 7月26日（金）14:00～15:30  
会場 芦屋市民センター本館 401室

定員 先着90名（先着順） / 受講料 500円  
申込 Eメール（ashiyagawa.c@gmail.com）または往復ハガキ【7月20日必着】  
（申込者氏名・住所・電話番号を記載の上、平和セミナー『田辺聖子』係まで）  
主催 芦屋市教育委員会・芦屋市立公民館  
問合せ 〒659-0068 芦屋市業平町8-24 芦屋市民センター 芦屋市立公民館 ☎0797-35-0700

